

2025年12月26日  
マーケティング部

# 商工中金景況調査

## 2025年11月調査結果(定例分)



人を思う。未来を思う。

商工中金

# 調査要領

1. 目的・調査事項	<p><b>●目的</b> 中小企業の、景況感をはじめとする実態のタイムリーな把握</p> <p><b>●調査事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 景況感 今月及び先行き</li> <li>(2) 業況判断（売上、販売価格、仕入価格、雇用状況、生産・営業用設備、資金繰り）今月及び先行き</li> <li>(3) トピックス（中小企業の賃上げの動向について）</li> </ul> <p>※トピックス調査分は2026年1月中に公表予定</p>
2. 回答期間・調査頻度	<p><b>●回答期間</b> 2025年11月13日～12月1日</p> <p><b>●調査頻度</b> 概ね四半期毎（初回調査：2020年2月）</p>
3. 対象企業	商工中金の取引先中小・中堅企業
4. 企業数	有効回答数 2,216社 (アンケート依頼数 3,972社、回答率 55.8%)
5. 調査方法	インターネットによる直接回答
■ ご照会先	商工中金 マーケティング部（齊藤） TEL：080-7005-9380

## 調査回答企業の属性（業種別）

		回答企業数	構成比(%)			回答企業数	構成比(%)
製造業		1,037	46.8	非製造業		1,179	53.2
製造業	食料品	126	5.7		建設業	70	3.2
	化学	76	3.4		卸売業	336	15.2
	鉄・非鉄	87	3.9		小売業	181	8.2
	印刷業	50	2.3		運輸業	325	14.7
	金属製品	166	7.5		飲食・宿泊	101	4.6
	はん用、生産用、業務用機械	156	7.0		情報通信業	28	1.3
	電気機器	81	3.7		その他非製造業	138	6.2
	輸送用機器	132	6.0				
	その他製造業	163	7.4				
	合計					2,216	100

(注)各項目の構成比の合計は、四捨五入の関係で100%とならない場合がある（以降頁同様）

## 調査回答企業の属性（地域別）

	回答企業数	構成比(%)		回答企業数	構成比(%)
北海道	61	2.8	北陸	98	4.4
東北	172	7.8	近畿	354	16.0
関東	643	29.0	中国	176	7.9
甲信越	144	6.5	四国	76	3.4
東海	247	11.1	九州・沖縄	245	11.1
全地域				2,216	100

(注)各項目の構成比の合計は、四捨五入の関係で100%とならない場合がある

地域区分：東北（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）、関東（茨城、栃木、群馬、東京、埼玉、千葉、神奈川）、  
 甲信越（山梨、長野、新潟）、東海（静岡、愛知、三重、岐阜）、北陸（富山、石川、福井）、  
 近畿（大阪、滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山）、中国（鳥取、島根、岡山、広島、山口）、  
 四国（香川、徳島、愛媛、高知）、九州・沖縄（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

# 1. 景況感

～11月の景況判断指数は4期ぶり「好転」超

<2025年11月の景況感>

## 11月の景況判断指数は4期ぶり 「好転」超

今月の景況判断指数（全産業）は50.7

（前回比+3.0%ポイント）

先行きの景況判断指数は47.6

（今月比-3.1ポイント）

□ 11月…「好転」13.9%、「不变」73.5%  
「悪化」12.6%

□ 先行き…「好転」11.7%、「不变」72.0%  
「悪化」16.4%

注1) 景況判断指数の算出式

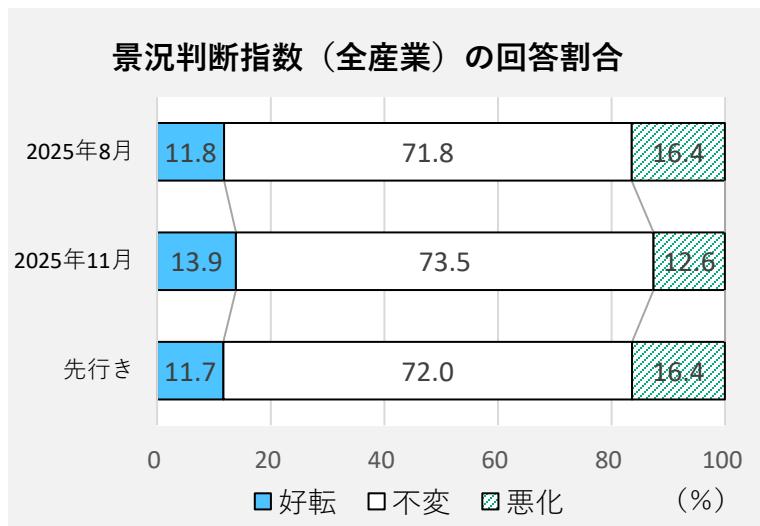
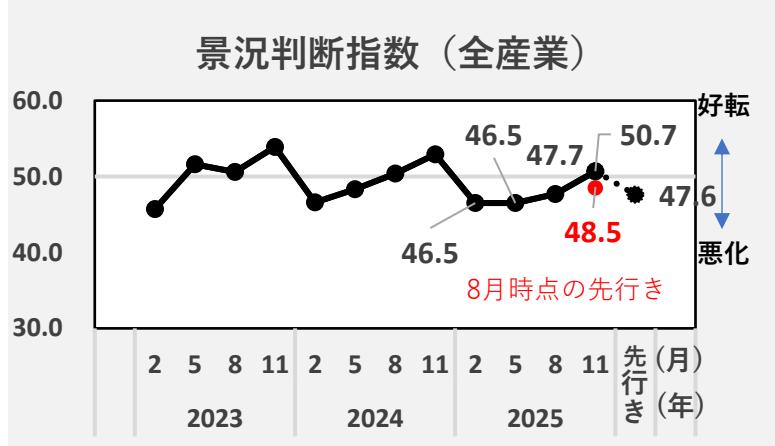
景況判断指数=  $(\text{好転企業数} \times 1 + \text{不变企業数} \times 0.5 + \text{悪化企業数} \times 0) \div \text{当該設問への回答企業数} \times 100$

指数が50を上回っていれば調査対象企業群の景況判断が概ね1~3か月前と比べて好転したことを表し、50を下回っていれば景況判断が概ね1~3か月前と比べて悪化したことを表す。50が中立となる。指数の範囲 $0.0 \leq \text{景況判断指数} \leq 100.0$

注2) 景況判断は、「今月（概ね1~3か月前と比べて）」につき3つの選択肢=「1.好転」「2.不变」「3.悪化」から選択。「先行き（向こう3か月程度の見通し）」についても同様。

※本調査の指標・DIは季節調整をしていない。

※各項目の比率は四捨五入により表示しているため、合計値が100%とならない場合がある。



<2025年11月の景況感>

## 製造業は「悪化」超幅縮小、非製造業は「好転」超に転じた

業種名	8月	11月 [8月時点の先行き]	(11月-8月)	先行き	回答数(11月)
全産業	47.7	<b>50.7</b> [48.5]	+3.0	<b>47.6</b>	( 2,210 )
製造業	45.6	<b>49.8</b> [47.2]	+4.2	<b>46.8</b>	( 1,033 )
非製造業	49.4	<b>51.4</b> [49.5]	+2.0	<b>48.4</b>	( 1,177 )
食料品	51.5	<b>48.0</b> [47.4]	-3.5	<b>46.0</b>	( 126 )
化学	46.5	<b>49.3</b> [46.5]	+2.8	<b>48.7</b>	( 76 )
鉄・非鉄	43.6	<b>51.2</b> [44.7]	+7.6	<b>44.2</b>	( 85 )
印刷業	45.0	<b>51.0</b> [50.0]	+6.0	<b>49.0</b>	( 50 )
金属製品	43.9	<b>51.5</b> [47.2]	+7.6	<b>43.9</b>	( 165 )
はん用、生産用、業務用機械	43.6	<b>48.7</b> [47.2]	+5.1	<b>48.4</b>	( 156 )
電気機器	49.4	<b>51.9</b> [48.1]	+2.5	<b>52.5</b>	( 81 )
輸送用機器	41.8	<b>51.1</b> [48.4]	+9.3	<b>49.2</b>	( 131 )
その他製造業	46.3	<b>47.5</b> [46.8]	+1.2	<b>43.6</b>	( 163 )
建設業	50.0	<b>49.3</b> [51.3]	-0.7	<b>50.0</b>	( 70 )
卸売業	47.1	<b>47.9</b> [46.4]	+0.8	<b>45.2</b>	( 336 )
小売業	49.2	<b>52.2</b> [49.2]	+3.0	<b>51.7</b>	( 180 )
運輸業	50.0	<b>53.7</b> [51.3]	+3.7	<b>48.5</b>	( 325 )
飲食・宿泊	55.8	<b>55.4</b> [52.7]	-0.4	<b>51.0</b>	( 101 )
情報通信業	45.5	<b>46.3</b> [53.0]	+0.8	<b>46.4</b>	( 27 )
その他非製造業	49.4	<b>52.5</b> [49.4]	+3.1	<b>49.6</b>	( 138 )

(注) その他製造業は紙・パルプ、繊維、窯業・土石、木材・木製品を含む。その他非製造業は不動産・物品賃貸業、サービス業を含む。

<2025年11月の景況感(業種別の回答構成比)>

## 食料品、その他製造業、飲食・宿泊を除き「悪化」回答の割合が減少

8月

11.8	71.8	16.4
11.4	68.5	20.2
12.1	74.5	13.4
18.8	65.4	15.8
14.1	64.7	21.2
7.4	72.3	20.2
10.0	70.0	20.0
12.2	63.3	24.4
8.9	69.4	21.7
16.3	66.3	17.5
6.6	70.5	23.0
9.5	73.7	16.8
11.7	76.6	11.7
8.9	76.3	14.7
12.1	73.0	14.2
12.6	74.8	12.6
23.0	65.5	11.5
9.1	72.7	18.2
11.1	76.5	12.3

0      50      100  
□ 好転    □ 不変    ■ 悪化 (%)

11月

全産業	13.9	73.5	12.6	11.7	72.0	16.4
製造業	14.2	71.2	14.6	12.0	69.4	18.5
非製造業	13.6	75.6	10.8	11.3	74.2	14.5
食料品	12.7	70.6	16.7	10.3	71.4	18.3
化学	13.2	72.4	14.5	9.2	78.9	11.8
鉄・非鉄	16.5	69.4	14.1	11.6	65.1	23.3
印刷業	14.0	74.0	12.0	14.0	70.0	16.0
金属製品	15.2	72.7	12.1	9.8	68.3	22.0
はん用、生産用、業務用機械	15.4	66.7	17.9	16.1	64.5	19.4
電気機器	11.1	81.5	7.4	17.3	70.4	12.3
輸送用機器	16.0	70.2	13.7	13.8	70.8	15.4
その他製造業	12.9	69.3	17.8	8.6	69.9	21.5
建設業	8.6	81.4	10.0	11.4	77.1	11.4
卸売業	10.4	75.0	14.6	9.6	71.3	19.1
小売業	14.4	75.6	10.0	13.4	76.5	10.1
運輸業	13.8	79.7	6.5	10.8	75.2	13.9
飲食・宿泊	27.7	55.4	16.8	17.8	66.3	15.8
情報通信業	7.4	77.8	14.8	7.1	78.6	14.2
その他非製造業	13.0	79.0	8.0	10.1	79.0	10.9

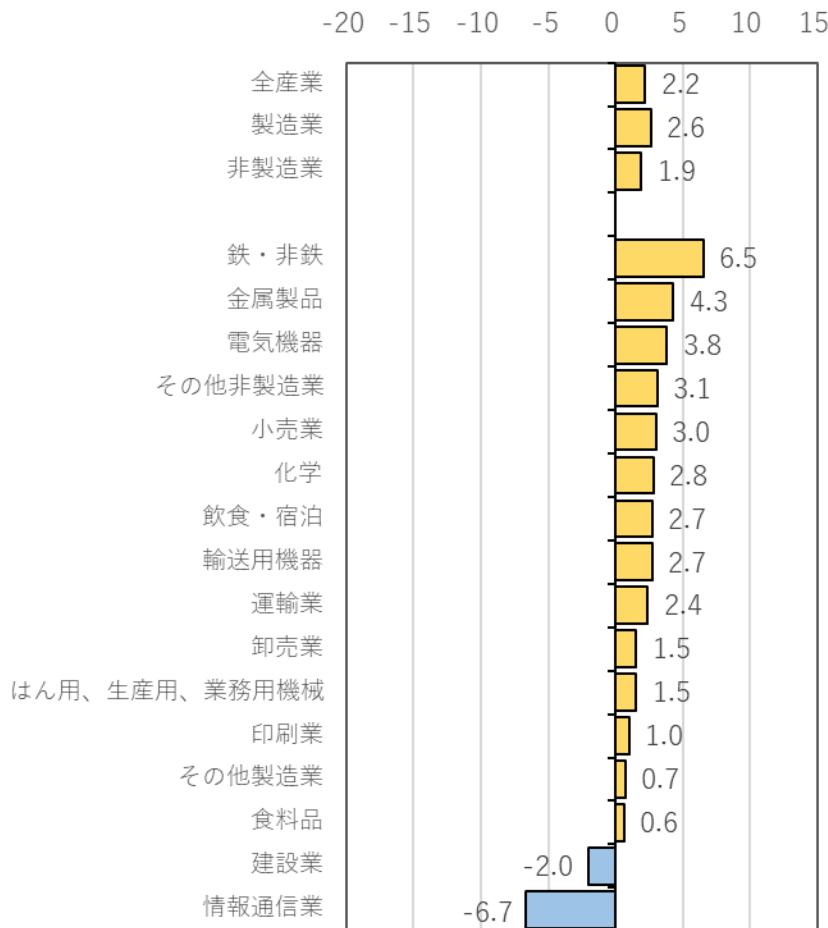
0      50      100  
□ 好転    □ 不変    ■ 悪化 (%)

先行き

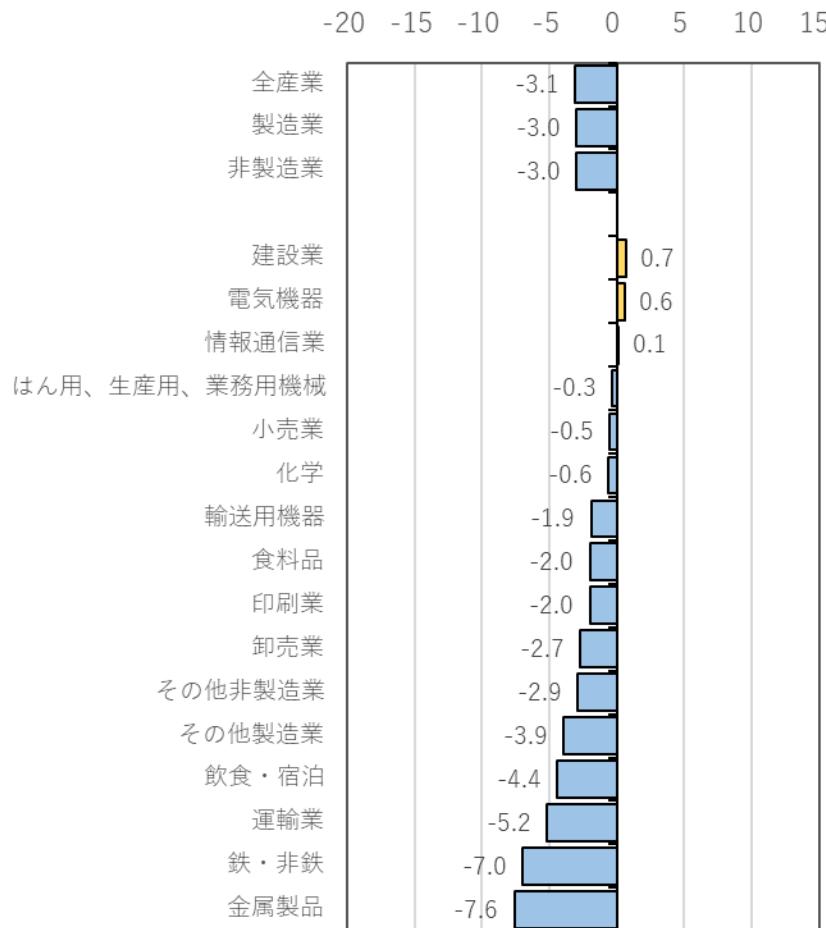
全産業	11.7	72.0	16.4
製造業	12.0	69.4	18.5
非製造業	11.3	74.2	14.5
食料品	10.3	71.4	18.3
化学	9.2	78.9	11.8
鉄・非鉄	11.6	65.1	23.3
印刷業	14.0	70.0	16.0
金属製品	9.8	68.3	22.0
はん用、生産用、業務用機械	16.1	64.5	19.4
電気機器	17.3	70.4	12.3
輸送用機器	13.8	70.8	15.4
その他製造業	8.6	69.9	21.5
建設業	11.4	77.1	11.4
卸売業	9.6	71.3	19.1
小売業	13.4	76.5	10.1
運輸業	10.8	75.2	13.9
飲食・宿泊	17.8	66.3	15.8
情報通信業	7.1	78.6	14.2
その他非製造業	10.1	79.0	10.9

<2025年11月の景況感（前回8月調査時点の先行き、今回調査の先行きとの比較）>  
2業種を除き、今回実績が8月時点の先行きを上回った

今回実績－前回8月時点の先行き



先行き－今回実績



<2025年11月の景況感(地域別の景況感)>

## 6地域で「好転」超。北海道は「悪化」超に転じた

地域名	8月	11月 [8月時点の先行き]	(11月-8月)	先行き	回答数(11月)	構成比 (%)	
						製造業	非製造業
全国	47.7	<b>50.7</b> [48.5]	+3.0	<b>47.6</b>	( 2,210 )	46.8	53.2
北海道	55.3	<b>45.1</b> [52.3]	-10.2	<b>44.3</b>	( 61 )	24.6	75.4
東北	49.2	<b>50.9</b> [47.3]	+1.7	<b>48.0</b>	( 172 )	33.7	66.3
関東	46.5	<b>51.6</b> [48.6]	+5.1	<b>47.9</b>	( 640 )	48.6	51.4
甲信越	47.1	<b>51.0</b> [46.8]	+3.9	<b>46.2</b>	( 144 )	59.7	40.3
東海	47.8	<b>50.0</b> [49.0]	+2.2	<b>46.5</b>	( 247 )	60.7	39.3
北陸	43.8	<b>48.5</b> [43.8]	+4.7	<b>40.7</b>	( 97 )	47.4	52.6
近畿	47.0	<b>50.4</b> [48.3]	+3.4	<b>47.6</b>	( 353 )	50.4	49.6
中国	48.1	<b>52.3</b> [50.8]	+4.2	<b>51.1</b>	( 176 )	43.2	56.8
四国	53.3	<b>50.7</b> [50.0]	-2.6	<b>50.7</b>	( 76 )	38.2	61.8
九州・沖縄	48.3	<b>49.8</b> [48.7]	+1.5	<b>49.0</b>	( 244 )	34.4	65.6

(注) 全国ベースで調査対象企業の抽出を行っているため、地域ごとの業種構成は考慮していない。  
 そのため、各地域間の比較や、全国と各地域を比較する際は注意を要する。

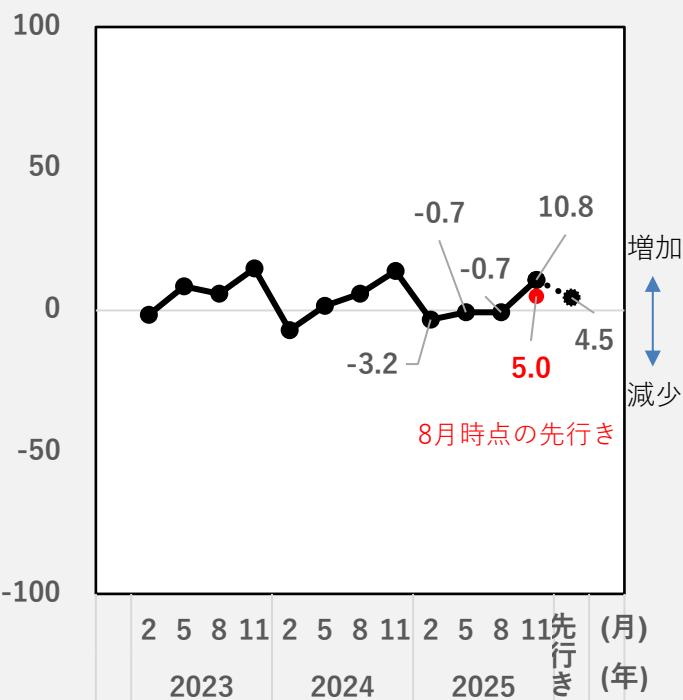
## 2. 業況判断

～【資金繰り】電気機器を除き「悪化」超

<2025年11月の業況判断>

## 【売上】製造業は「増加」超に転じ、非製造業は「増加」超幅拡大

売上DI（全産業）



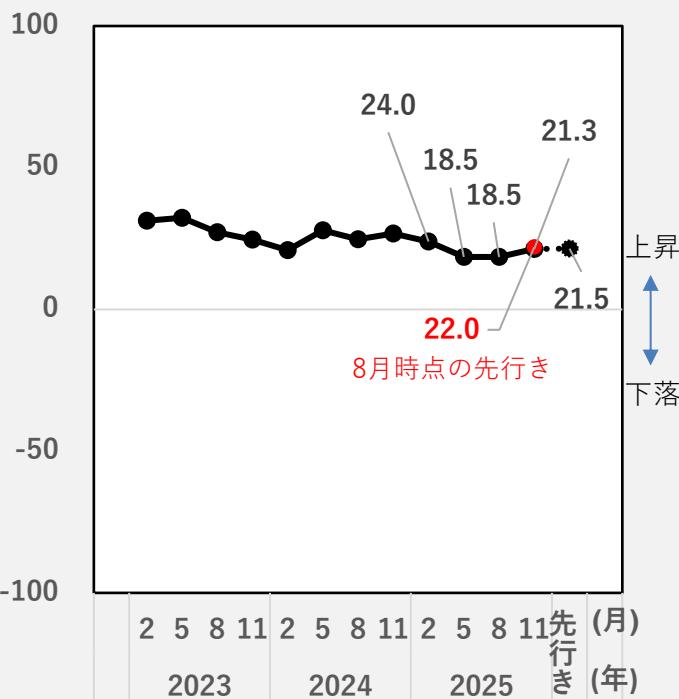
	25年8月	25年11月 [8月時点の先行き]	先行き
全産業	▲ 0.7	10.8 [5.0]	4.5
製造業	▲ 10.3	9.0 [0.4]	1.7
非製造業	7.2	12.3 [8.7]	6.9
食料品	9.0	22.2 [9.2]	22.2
化学	▲ 15.3	9.3 [▲7.1]	0.0
鉄・非鉄	▲ 10.6	10.5 [▲5.3]	▲ 2.3
印刷業	▲ 12.0	14.0 [2.0]	2.0
金属製品	▲ 18.4	8.5 [▲1.1]	▲ 6.7
はん用、生産用、業務用機械	▲ 15.2	1.9 [▲3.2]	1.9
電気機器	▲ 3.8	12.3 [▲5.0]	12.3
輸送用機器	▲ 18.0	8.3 [4.9]	▲ 0.8
その他製造業	▲ 6.9	2.5 [3.7]	▲ 6.2
建設業	0.0	4.3 [10.4]	8.6
卸売業	0.5	7.1 [4.0]	3.6
小売業	5.8	9.9 [6.8]	13.3
運輸業	11.8	20.3 [15.4]	5.2
飲食・宿泊	26.8	24.0 [15.0]	12.9
情報通信業	▲ 18.2	0.0 [0.0]	3.6
その他非製造業	8.6	7.2 [3.1]	5.8

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2025年11月の業況判断>

## 【販売価格】「上昇」超幅がわずかに拡大

販売価格DI（全産業）



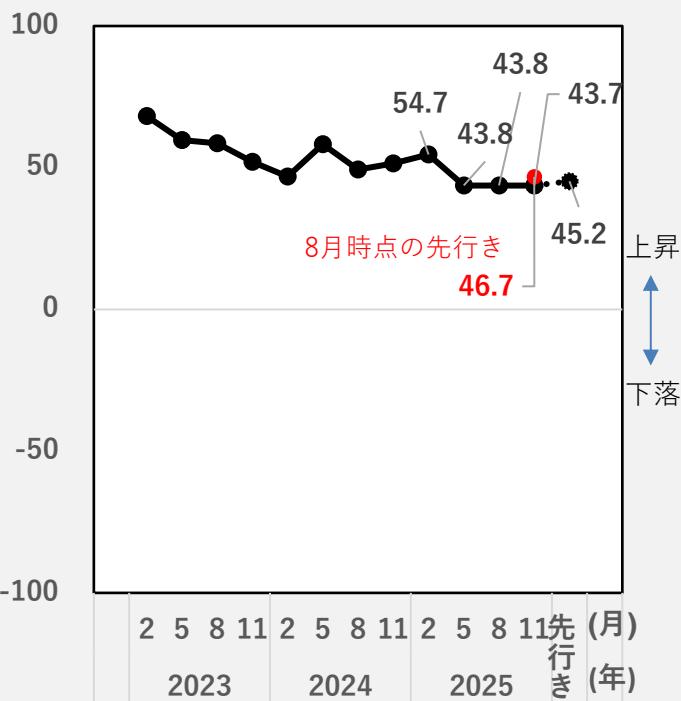
(DIの定義は資料末尾に記載)

	25年8月	25年11月 [8月時点の先行き]	先行き
全産業	18.5	21.3 [22.0]	21.5
製造業	14.3	18.0 [18.9]	20.4
非製造業	22.0	24.2 [24.5]	22.4
食料品	31.6	43.7 [50.0]	40.5
化学	11.8	6.6 [12.0]	17.1
鉄・非鉄	▲ 1.1	10.5 [▲1.1]	15.1
印刷業	10.0	14.0 [16.3]	22.0
金属製品	7.8	9.7 [6.1]	10.3
はん用、生産用、業務用機械	10.1	14.1 [8.2]	17.9
電気機器	17.5	17.3 [26.3]	24.7
輸送用機器	18.0	20.9 [21.3]	12.4
その他製造業	17.9	19.0 [26.8]	25.8
建設業	13.2	20.0 [18.2]	21.4
卸売業	21.3	28.1 [23.9]	26.8
小売業	32.3	26.5 [34.4]	22.1
運輸業	14.9	16.2 [19.7]	16.3
飲食・宿泊	40.7	36.6 [31.9]	30.7
情報通信業	9.1	25.0 [18.2]	17.9
その他非製造業	21.7	23.4 [24.8]	21.2

<2025年11月の業況判断>

## 【仕入価格】全産業の「上昇」超幅はほぼ横ばい

仕入価格DI（全産業）



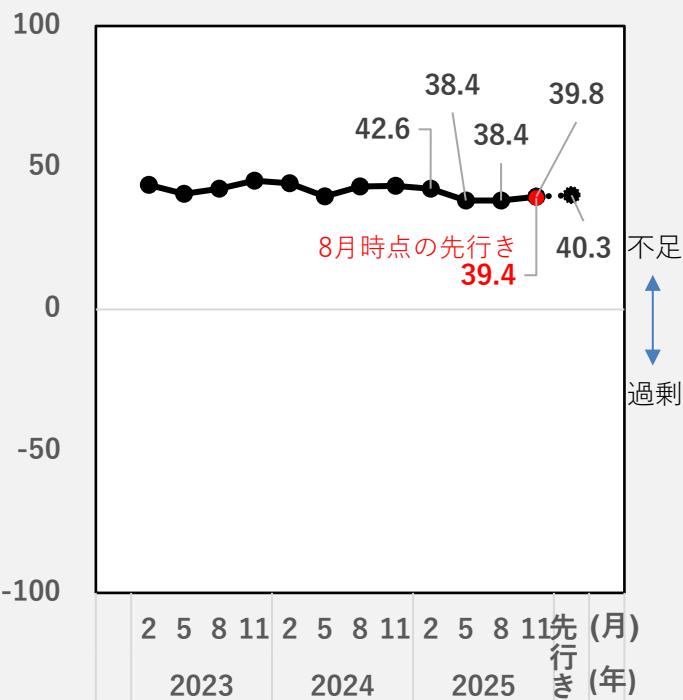
(DIの定義は資料末尾に記載)

	25年8月	25年11月 [8月時点の先行き]	先行き
全産業	43.8	43.7 [46.7]	45.2
製造業	37.5	43.0 [40.6]	47.3
非製造業	48.9	44.3 [51.7]	43.4
食料品	66.2	72.2 [66.2]	76.2
化学	21.2	21.1 [36.5]	32.0
鉄・非鉄	17.0	32.6 [14.9]	33.7
印刷業	50.0	48.0 [61.2]	78.0
金属製品	32.0	32.5 [32.0]	39.9
はん用、生産用、業務用機械	38.6	42.3 [39.2]	41.7
電気機器	48.8	49.4 [53.2]	51.9
輸送用機器	30.3	41.2 [31.1]	38.2
その他製造業	35.8	44.2 [42.1]	47.9
建設業	48.1	44.9 [54.5]	44.3
卸売業	37.6	42.0 [41.4]	40.9
小売業	43.9	33.1 [44.4]	35.0
運輸業	51.2	42.7 [55.6]	38.2
飲食・宿泊	82.3	78.2 [77.9]	74.3
情報通信業	36.4	46.4 [48.5]	57.1
その他非製造業	55.3	42.8 [56.5]	46.3

&lt;2025年11月の業況判断&gt;

## 【雇用状況】製造業で「不足」超幅が僅かに拡大

雇用状況DI（全産業）



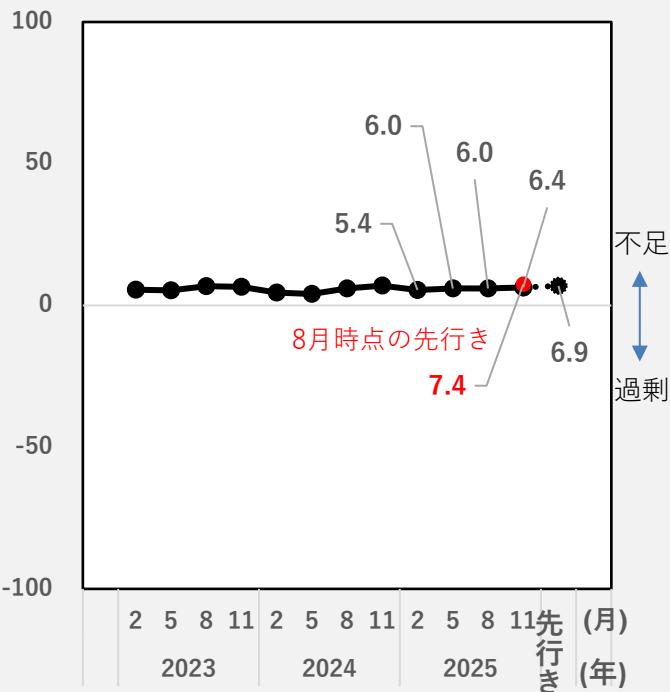
(DIの定義は資料末尾に記載)

	25年8月	25年11月 [8月時点の先行き]	先行き
全産業	38.4	39.8 [39.4]	40.3
製造業	26.9	29.9 [26.8]	29.1
非製造業	47.9	48.4 [49.7]	50.1
食料品	39.8	42.9 [40.6]	38.1
化学	41.2	27.6 [35.3]	25.3
鉄・非鉄	33.0	45.9 [35.1]	43.5
印刷業	22.4	20.0 [20.8]	16.0
金属製品	19.2	26.7 [21.3]	29.1
はん用、生産用、業務用機械	27.8	24.4 [28.5]	27.1
電気機器	13.8	29.6 [12.5]	27.2
輸送用機器	17.4	25.4 [18.2]	26.0
その他製造業	27.4	28.2 [25.8]	25.8
建設業	53.2	52.9 [53.2]	54.3
卸売業	28.5	33.1 [31.2]	32.5
小売業	55.8	52.8 [55.9]	54.7
運輸業	62.4	62.5 [63.9]	65.5
飲食・宿泊	60.2	60.4 [62.5]	59.4
情報通信業	24.2	21.4 [30.3]	32.1
その他非製造業	43.5	41.3 [45.6]	44.9

&lt;2025年11月の業況判断&gt;

## 【生産・営業用設備】小幅の「不足」超が継続

生産・営業用設備DI  
(全産業)



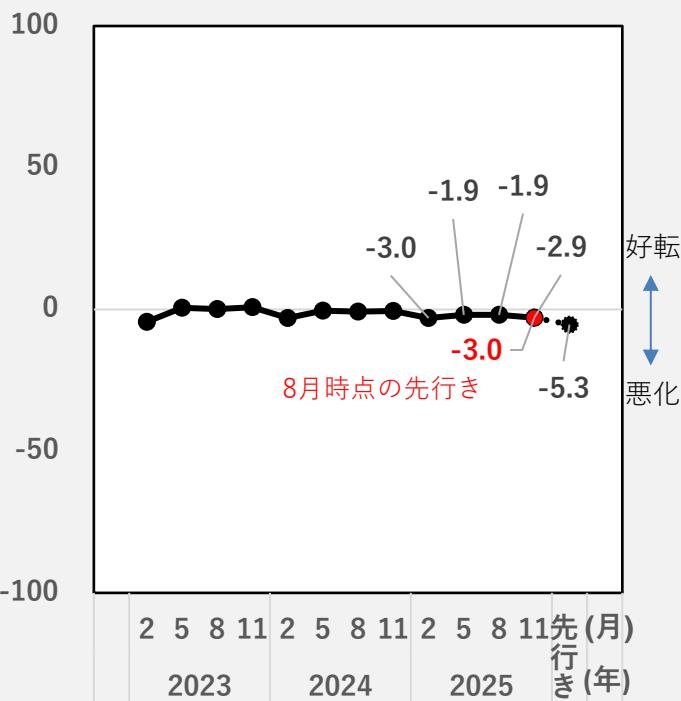
	25年8月	25年11月 [8月時点の先行き]	先行き
全産業	6.0	6.4 [7.4]	6.9
製造業	2.0	5.0 [4.1]	5.7
非製造業	9.2	7.6 [10.2]	7.9
食料品	15.0	19.8 [18.0]	19.0
化学	0.0	2.6 [2.4]	2.7
鉄・非鉄	1.1	4.7 [4.3]	7.0
印刷業	0.0	4.0 [0.0]	4.0
金属製品	▲ 3.9	0.0 [▲2.2]	1.8
はん用、生産用、業務用機械	▲ 1.9	0.0 [▲1.3]	2.6
電気機器	6.3	4.9 [6.3]	1.2
輸送用機器	▲ 2.5	9.2 [1.7]	12.2
その他製造業	4.7	1.8 [6.9]	0.6
建設業	▲ 1.3	1.4 [1.3]	1.4
卸売業	5.9	5.7 [6.7]	5.1
小売業	6.5	5.1 [8.0]	6.3
運輸業	15.9	13.4 [17.8]	12.5
飲食・宿泊	13.4	9.2 [13.4]	14.3
情報通信業	6.1	3.6 [3.0]	10.7
その他非製造業	7.5	4.4 [7.0]	4.4

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2025年11月の業況判断>

## 【資金繰り】電気機器を除き「悪化」超

資金繰りDI（全産業）



(DIの定義は資料末尾に記載)

	25年8月	25年11月 [8月時点の先行き]	先行き
全産業	▲ 1.9	▲ 2.9 [▲3.0]	▲ 5.3
製造業	▲ 4.4	▲ 3.2 [▲5.3]	▲ 6.0
非製造業	0.1	▲ 2.6 [▲1.1]	▲ 4.8
食料品	▲ 6.8	▲ 4.0 [▲6.8]	▲ 5.6
化学	▲ 3.5	▲ 3.9 [▲8.2]	▲ 7.9
鉄・非鉄	▲ 3.2	▲ 4.7 [▲4.3]	▲ 1.2
印刷業	▲ 6.0	▲ 6.0 [▲4.1]	▲ 8.2
金属製品	▲ 3.4	▲ 3.6 [▲5.6]	▲ 9.1
はん用、生産用、業務用機械	▲ 8.2	▲ 5.2 [▲5.1]	▲ 10.3
電気機器	▲ 2.5	1.2 [▲11.4]	▲ 1.2
輸送用機器	▲ 6.6	▲ 1.5 [▲6.6]	▲ 5.3
その他製造業	▲ 0.5	▲ 1.8 [▲0.5]	▲ 3.1
建設業	2.6	▲ 4.3 [▲1.3]	▲ 2.9
卸売業	1.6	▲ 1.8 [▲0.5]	▲ 1.5
小売業	▲ 2.6	▲ 5.0 [▲3.7]	▲ 7.2
運輸業	0.5	▲ 1.8 [1.1]	▲ 7.4
飲食・宿泊	▲ 4.4	▲ 5.0 [▲8.0]	▲ 10.0
情報通信業	▲ 3.0	▲ 3.6 [▲3.0]	▲ 3.6
その他非製造業	1.3	▲ 0.7 [0.6]	▲ 0.7

## (参考) 業況判断DIの定義

<b>業況判断</b>	各項目の「今月」および「先行き」について、下記3つの選択肢（1.~3.）の中から、調査対象企業自身の業況についての判断（業況感）に該当するものを選択する
<b>DIの算出方法 (Diffusion Index の略)</b>	<p>①売上…「1.増加」「2.不变」「3.減少」          ②販売価格…「1.上昇」「2.不变」「3.下落」          ③仕入価格…「1.上昇」「2.不变」「3.下落」          ④雇用状況…「1.不足」「2.適正」「3.過剰」          ⑤生産・営業用設備…「1.不足」「2.適正」「3.過剰」          ⑥資金繰り…「1.好転」「2.不变」「3.悪化」</p> <p>業況判断DI = 「1.」 - 「3.」の企業割合 (%)          DIの範囲 <math>\Delta 100.0 \leqq \text{業況判断DI} \leqq 100.0</math></p> <p>②販売価格、③仕入価格、⑥資金繰りは「今月」はおおむね1~3か月前と比べて、「先行き」は今月と比べた向こう3か月程度の見通しについて、それぞれ選択肢から選んで回答。</p> <p>④雇用状況、⑤生産・営業用設備は、調査対象企業が「適正」と考えている水準を基準として、「今月」と「先行き」の状況を、それぞれ選択肢から選んで回答。</p>

<2025年11月の景況感・業況判断>

## 景況感・業況判断に関する自由記載から

### 【下請法改正・取適法施行】

- ✓ 取適法施行により、**支払サイトの短縮**が要請されるため資金繰りに影響がある。（輸送用機器）
- ✓ 下請法改正の影響が大きく、来年1月以降に**大幅な資金繰りの悪化**が懸念される。（小売業）
- ✓ 下請法改正で、販売先からの代金回収における**現金比率**がかなりアップした。外注先への支払いも現金支払いを余儀なくされるが、総体でみると**資金繰り**にかなり余裕が見込まれる。（電気機器）
- ✓ 下請法改正により、一部の顧客で**現金化**が早まったが、製造委託先に対する**支払**も短縮され、先行きの資金繰りは不变から悪化することが懸念される。（その他製造業）
- ✓ 下請法改正により、下請対象事業者への支払いに**手形・でんさい**が利用できなくなるので、支払いサイトが短くなり、どの程度資金繰りに影響がでるのか懸念している。（その他非製造業）

### 【価格転嫁・人件費に関するコメント】

- ✓ 1社毎、不採算先についての精査を行い、将来を見据え**値上げ交渉を継続**。（運輸業）
- ✓ 主要仕入先の価格引上げ発表を受け、販売価格についても引上げを交渉。複数回の引上げを行っていることから、**値上げ交渉は都度厳しくなっている**。理解を得るために慎重かつ丁寧な対応が必要。（卸売業）
- ✓ **単価値上げ**により売上は微増だが、**人件費上昇**により利益は見込めない。（運輸業）
- ✓ 販売単価の値上げにより前年比增收も、**人件費**などの経費も同様に増加しているため業況は変わらない。（飲食・宿泊）

### 【ガソリン・軽油の旧暫定税率廃止】

- ✓ 軽油の旧暫定税率撤廃により**燃料費が下がる**。（運輸業）
- ✓ 旧暫定税率廃止に伴い、**燃料費負担の軽減**が見込まれるが、**最低賃金上昇**により、相殺される見込みであり、**大きくコスト削減には繋がらない**。（運輸業）

<2025年11月の景況感・業況判断>

## 景況感・業況判断に関する自由記載から

### 【米国関税政策の影響】

- ✓ 影響が薄れ、遅れていた設備投資案件が戻ってきている。（はん用、生産用、業務用機械）
- ✓ 9月頃までは関税の先行き不透明感から受注が抑えられていたが、現在は回復基調で売上も戻りつつある。（輸送用機器）
- ✓ 原料価格が上昇している。（食料品）

### 【対中関係の影響】

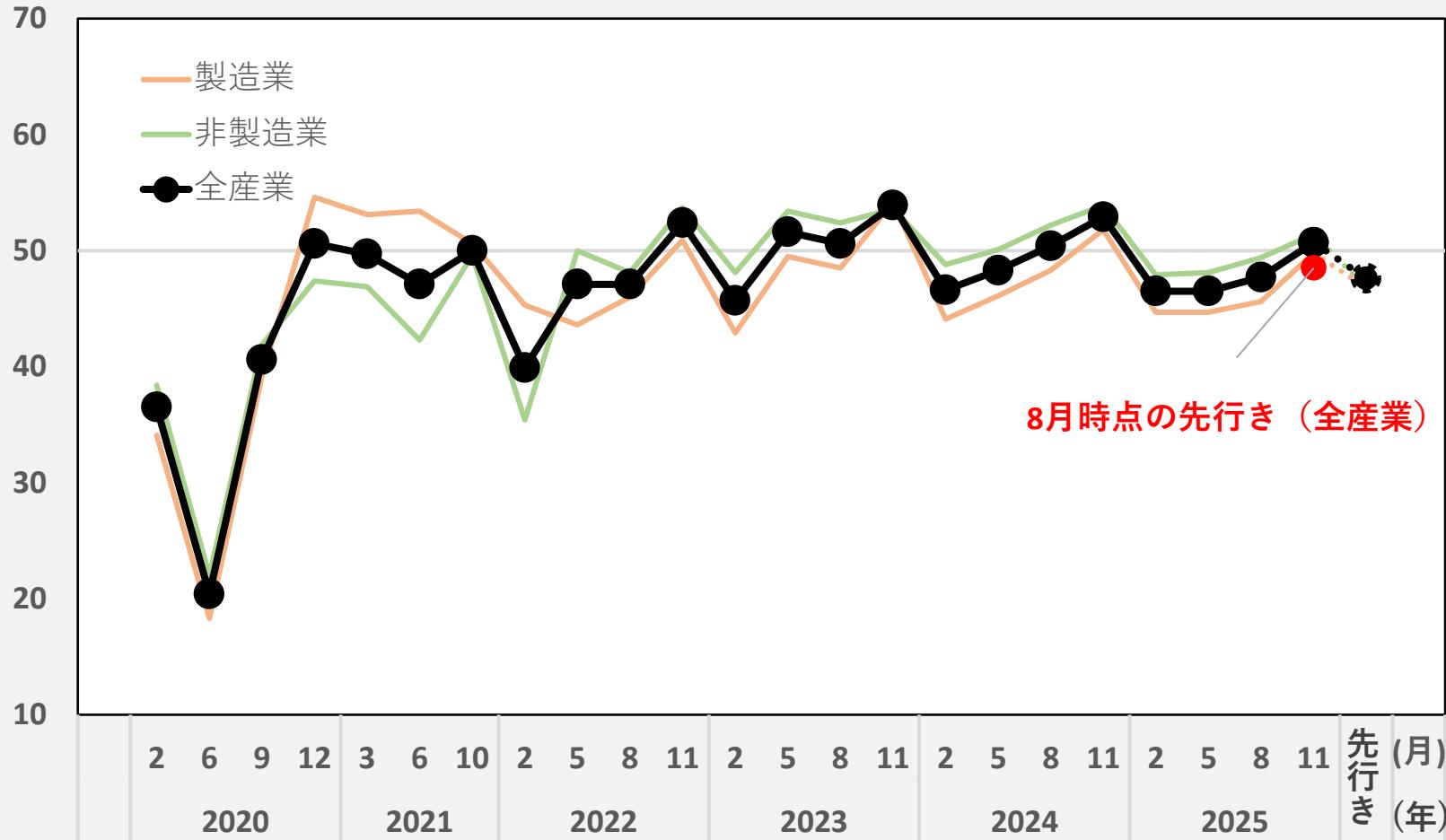
- ✓ インバウンドにかなり業績が左右されるため、今後の中国人訪日客の動向に注意しなければならない。（小売業）
- ✓ 中国の渡航制限がどうなるか不安なところがある。（飲食・宿泊）
- ✓ 中国人の社員が全体の2割程度。今後もさらに増員することを計画していたが中国との関連を考えると雇用について再考が必要。（情報通信業）

### 【その他】

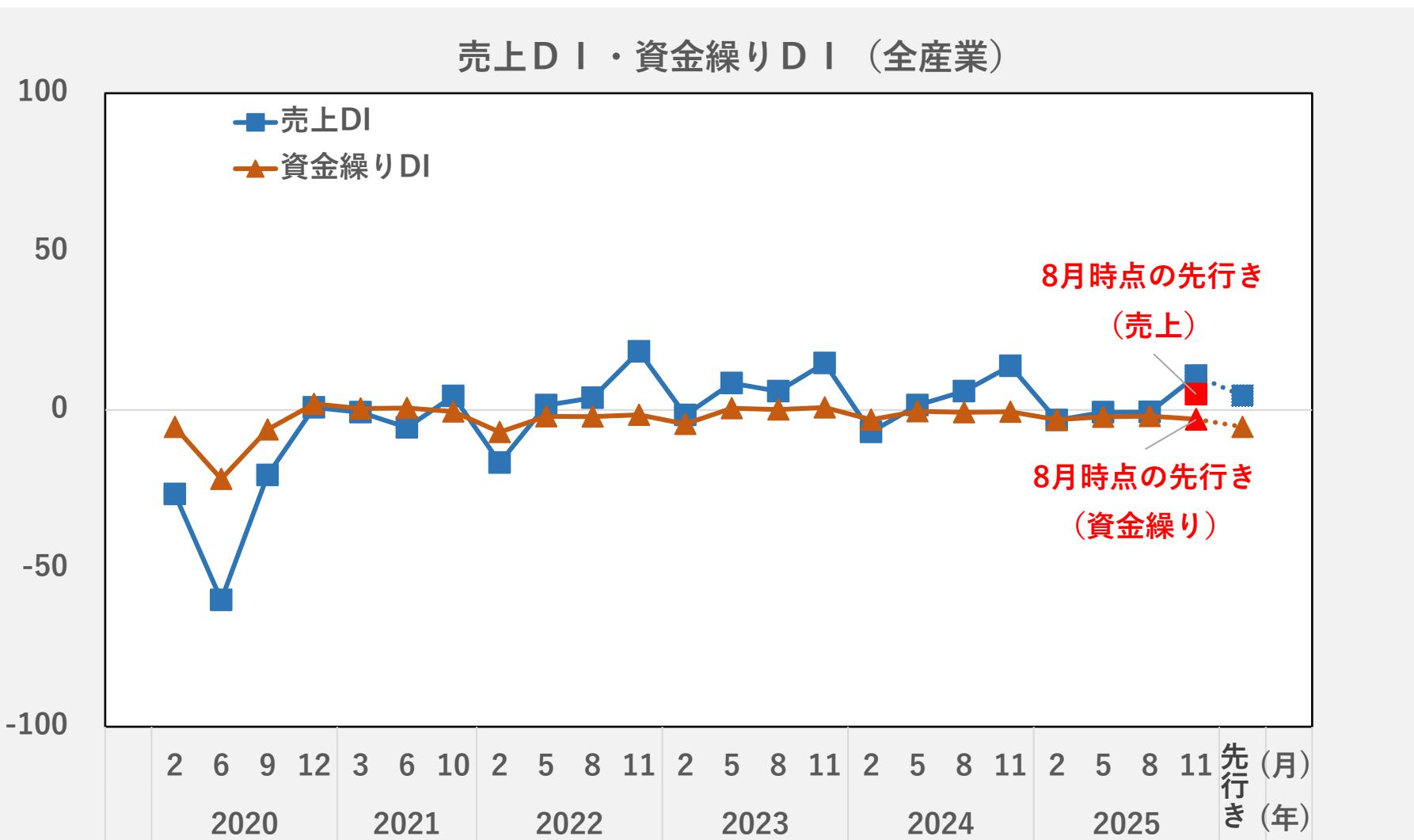
- ✓ 株価などは上昇傾向にあるが、地方では、物価高・生活防衛により消費動向が読みにくい。（小売業）
- ✓ 物価高の影響から一般消費者の消費性向は下がっている。（その他非製造業）
- ✓ 当地はキャンプ用品やアウトドア用品の製造販売地域でもあり、今回のクマ騒動でそれらの需要が壊滅的に喪失している。（小売業）
- ✓ 物量が減っている中で人件費、タイヤ、水道光熱費、車両価格や仕入れ経費が上昇している。（運輸業）
- ✓ 半導体製造装置の部品などの表面処理の受注増。（金属製品）
- ✓ 足元の受注量が増えない。自動車部品産業界からの受注量が伸びない。（金属製品）
- ✓ 自動車関連の新車開発が遅れており金型業界は厳しい。（輸送用機器）

(参考) 第1回調査からの長期時系列推移 (景況判断指数)

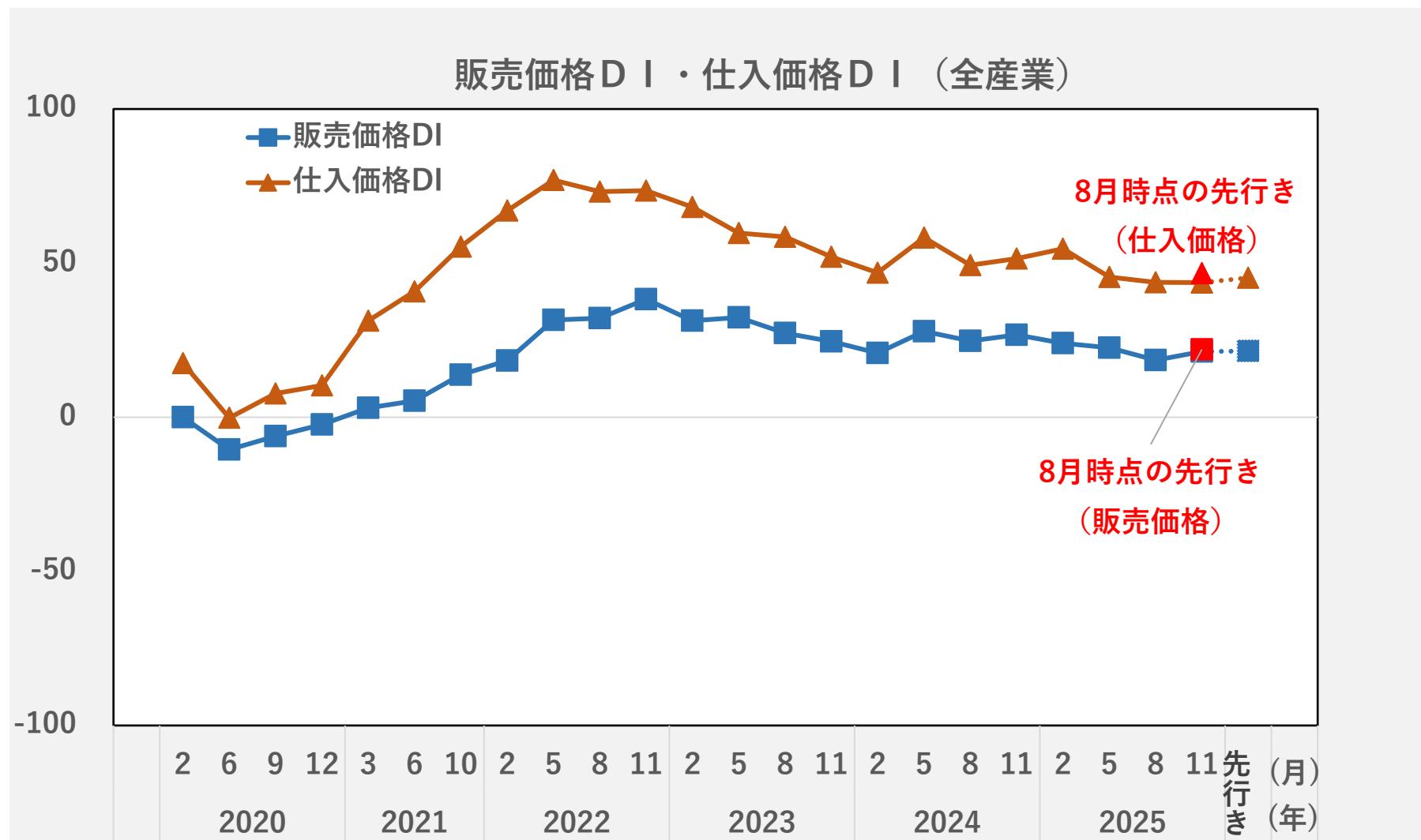
景況判断指数 (全産業)



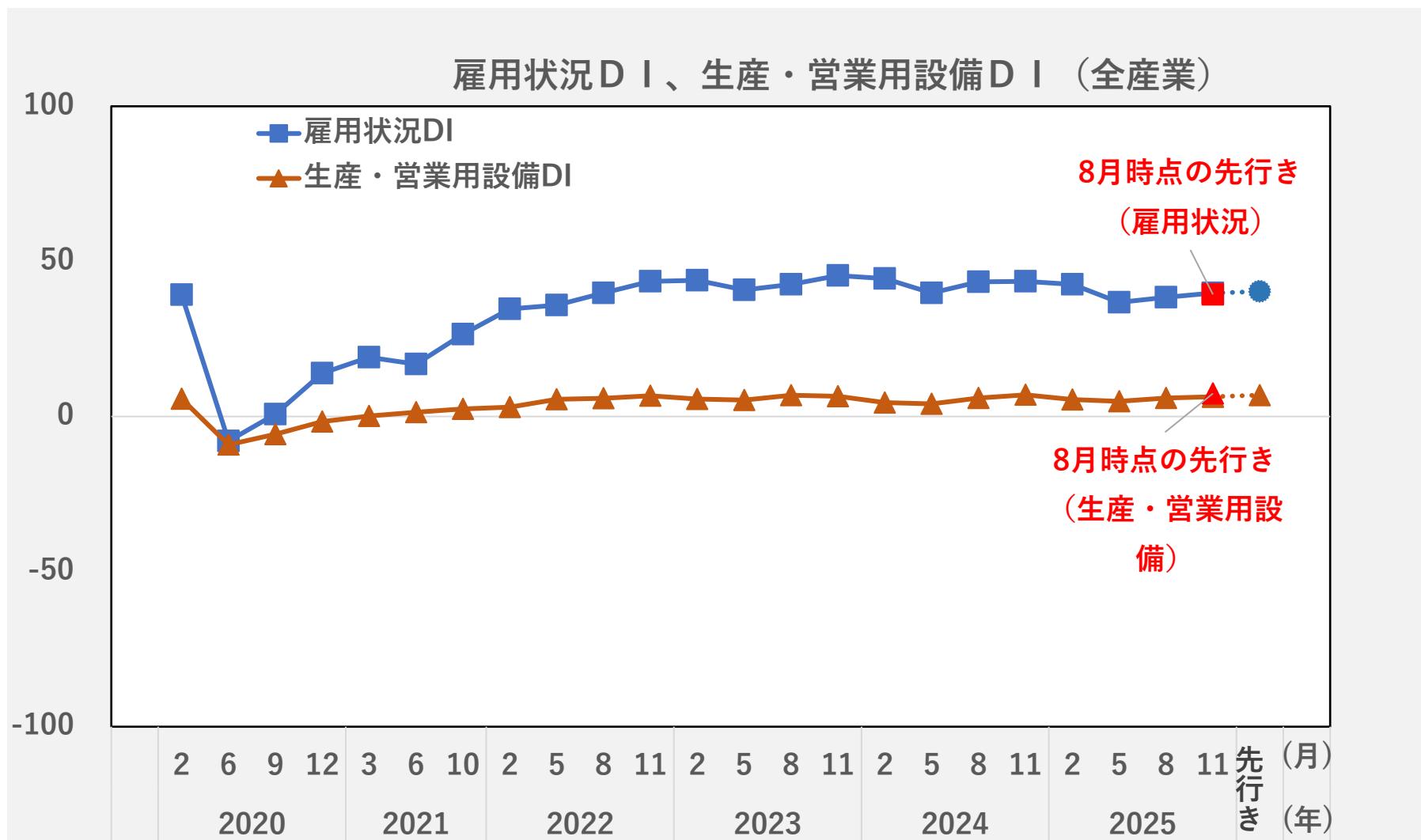
(参考) 第1回調査からの長期時系列推移 (売上、資金繰り)



(参考) 第1回調査からの長期時系列推移 (販売価格、仕入価格)



(参考) 第1回調査からの長期時系列推移 (雇用状況、生産・営業用設備)





人を思う。未来を思う。

商工中金